

■ 基本的な考え方

視覚障害者誘導用ブロック等(以下、「誘導ブロック等」という)は、視覚障がい者が主に足の裏の触覚と色によってその存在や大まかな形状を確認できるように突起を表面につけた床材であり、歩行中の視覚障がい者に位置や方向を情報提供することにより、歩行の安全性を確保し、単独歩行を支援するものです。

点字は、文字情報を6つの凸点の組み合わせで標示するもので、視覚情報を触覚情報に置き換えたものです。

■ 参考とするべき項目

●バリアフリー整備基準 ◇望ましい基準

項目	解説	参照条文等
誘導ブロック等	<ul style="list-style-type: none"> ●誘導ブロック等は、視覚障がい者が容易に確認でき、かつ、覚えやすい方法で敷設する。敷設にあたっては、その他の歩行者の安全を阻害しないように配慮する。 ●「15 案内設備までの経路(視覚障害者移動等円滑化経路)」の一般基準を準用する。 	
誘導ブロック等の種類及び形状	<p>◇誘導ブロック等について、足裏を通して情報を伝えるための突起部の形状・寸法及びその配列が JIS T 9251 で定められており、これに準拠したものを設置する事が望ましい。</p> <p>点状ブロック(注意喚起用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面に点状の突起がついている。 ・ 注意を喚起するためや誘導対象施設などの位置を案内する場合に用いる。 ・ 屈折部分・段差部分(階段の始点・終点など)・危険箇所の前面などに敷設する。 <p>線状ブロック(誘導用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表面に平行する線状突起がついている。 ・ 誘導対象施設などの方向を案内する場合に用いる。 ・ 誘導の方向と線状突起の方向を平行にして、連続して敷設する。 	JIS T 9251 【図 1】
誘導ブロック等の色及び材料	<p>◇誘導ブロック等の色は、黄色を原則とし、他の床材との色の明度、色相又は彩度の差が大きいことにより容易に識別できるように配慮する。(黄色を原則とするのは、弱視者に識別しやすいことによる。)</p> <p>◇「1 弱視者向けの施設整備の配慮事項及び設計事例集」の「02 色彩計画の考え方」を参照し、色の検討をすること。</p> <p>◇弱視者等が識別しやすいよう、誘導ブロック等と周囲の床の仕上の色は、輝度比を2.0以上確保することが望ましい。</p> <p>◇黄色の誘導ブロック等を白や薄いグレーの床に敷設すると、弱視者等には見えにくい場合があるため、これらの色を組み合わせる場合には、色が際立つように縁取りを設ける等配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金属製の誘導用ブロック等には、弱視者には色の違いがわかりにくい場合があること、使用する部位によっては雨滴によりスリップしやすいこと、施工上の精度が悪いものやがれやすいものがあること等の問題がある。 	標 2.計画・設計の考え方
点字案内板	<ul style="list-style-type: none"> ●構内出入口付近には点字案内板や触知図を設置する。 ◇案内板は、台の上面が傾斜したものが望ましい。 ◇案内板の設置については、他の歩行者の通行の障害にならないように配慮する。 ●「14 案内設備」の一般基準◎視覚障がい者のための案内設備を準用する。 	【図 3、5】

項目	解説	参照条文等
階段、傾斜路	<ul style="list-style-type: none"> ●階段、傾斜路の始点及び終点は、必要に応じて点状ブロック等を敷設する。 ◇階段、傾斜路の手すりの始点及び終点は、点字プレートを設置し、階数を標示する。 ●「04 階段」、「05 傾斜路」の一般基準を準用する。 	【図 2、4】
エレベーター	<ul style="list-style-type: none"> ●外部出入口からエレベーターの乗り場まで点状ブロック等を敷設する。 ◇エレベーターの乗り場ボタンの手前には、点状ブロック等を 2～3枚程度、敷設する。 ◇エレベーターの乗り場ボタンや操作盤・インターホンなどには、階数などを点字プレートで標示する。 ●「06 エレベーター及びその乗降ロビー」の一般基準⑤⑥⑦制御装置を準用する。 	【図 2、6】 標 2-8.2.2.1.1ニ

■ 参考図

図1 点状ブロック等の形状の例〔再掲〕

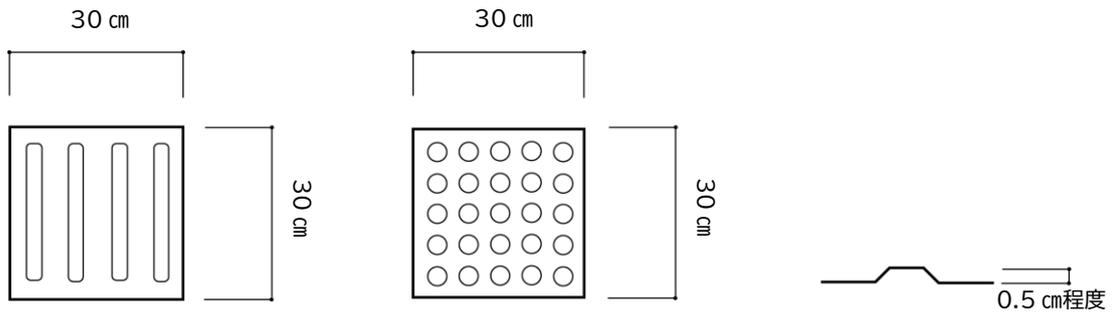
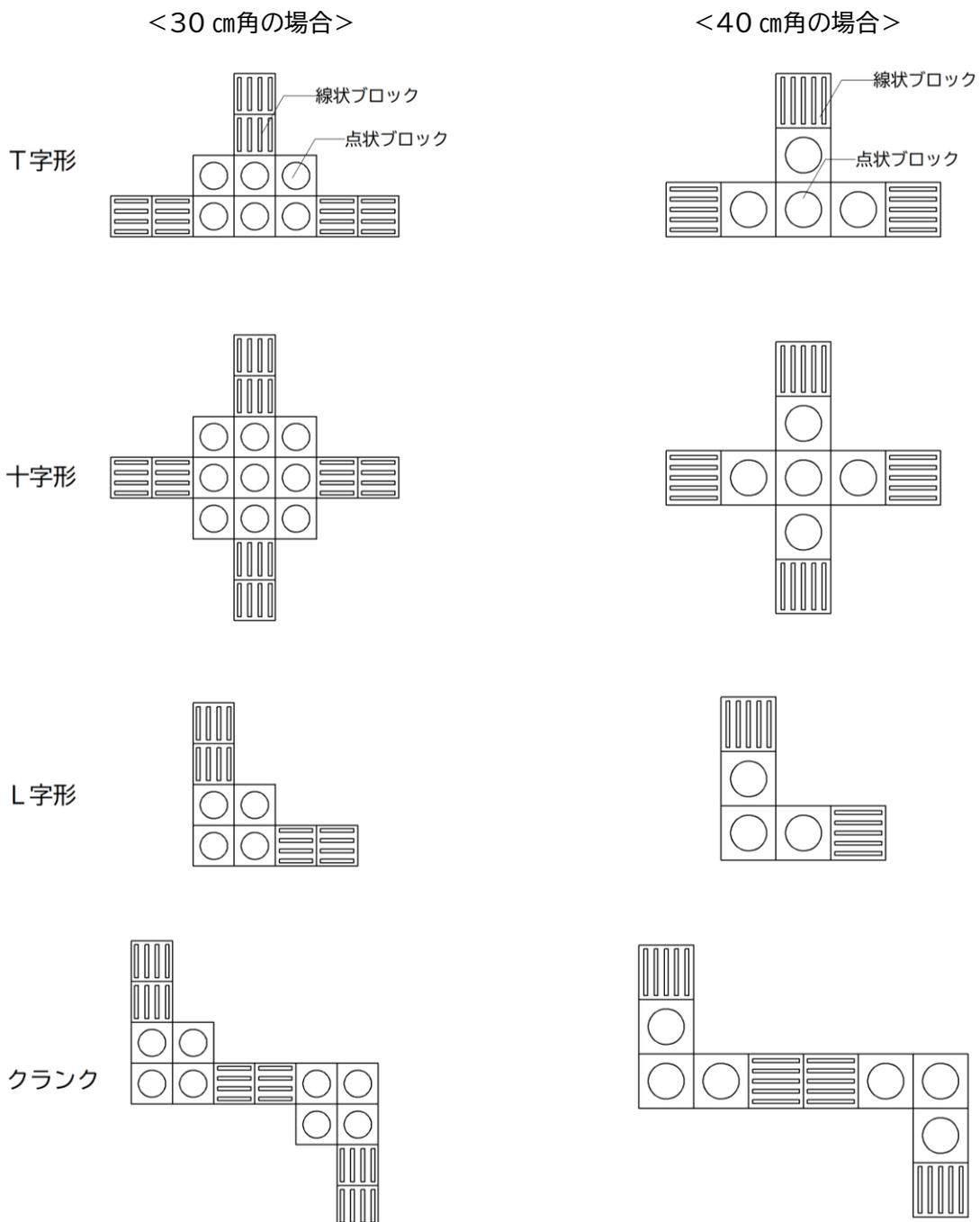
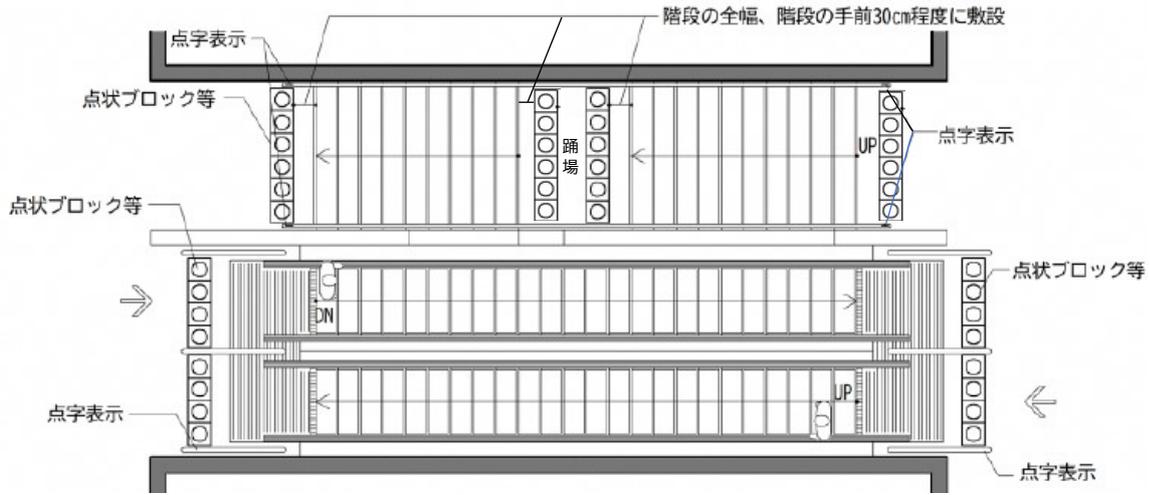


図2 点状ブロック等の敷設例〔再掲〕

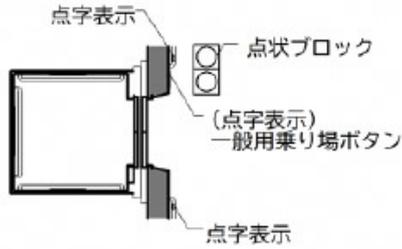


■ 参考図

■ 階段・エスカレーターでの設置例



■ エレベーターでの設置例



■ ゆるやかなカーブ

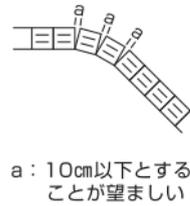


図 3 玄関標示板の例

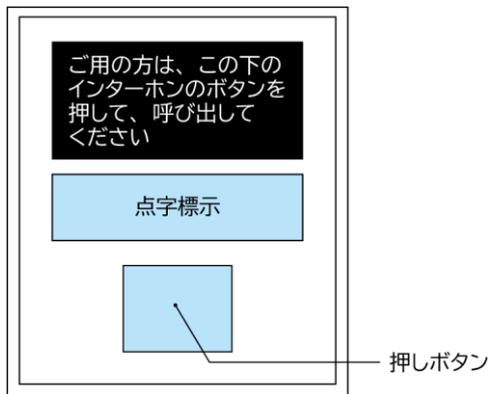


図 4 階段における手すりと点字標示取付例

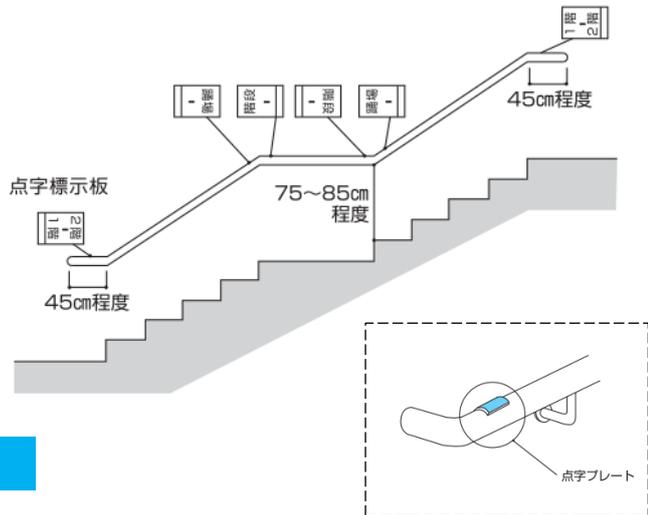
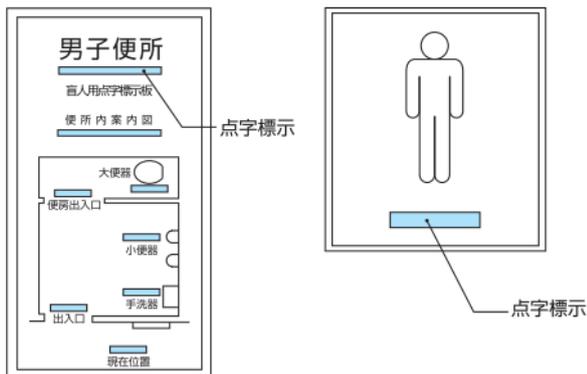


図 5 各部屋用点字標示板の例



参考図

図 6 エレベーター乗り場ボタン及びかご内操作盤の点字表現の例

	乗り場ボタン			かご内操作盤						
呼称	昇り	降り	乗り場階床数	戸開	戸閉	インターホン呼	行先ボタン			
晴眼者マーク (例)										
点字	ウ エ	シ タ	5カイ	ア ケ	シ メ	ヒジョー	チカ1	チュー2	(6) 数 符	オ ク

参考 1 点字の読み方

(五十音)

ア イ ウ エ オ

カ キ ク ケ コ

サ シ ス セ ソ

タ チ ツ テ ト

ナ ニ ヌ ネ ノ

ハ ヒ フ ヘ ホ

マ ミ ム メ モ

ヤ ユ ヨ

ラ リ ル レ ロ

ワ ヲ ヌ

(濁音)

ガ ギ グ ゲ ゴ

ザ ジ ズ ゼ ゾ

ダ チ ツ テ ド

バ ビ ブ ベ ボ

パ ピ フ ベ ボ

(拗音)

キャ キュ キョ

シャ シュ ショ

チャ チュ チョ

ニャ ニュ ニョ

ヒャ ヒュ ヒョ

ギャ ギュ ギョ

ジャ ジュ ジョ

ビャ ビュ ビョ

ミャ ミュ ミョ

リャ リュ リョ

(アルファベット)

外国文字符 A B C D E F G H I

J K L M N O P Q R

外国語引用符 S T U V W X Y Z

(記号)

長音 (ー)

促音 (っ)

「 」 カギ

() カッコ

句点 (。)

読点 (、)

(数字)

数符 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

